

平成27年度宮崎サイエンスキャンプ実施報告書

【タイトル】
脳科学体験

【担当学部・学科・講座・担当者】
宮崎大学医学部機能制御学講座・統合生理学分野
指導担当者：高宮考悟， 中山（直野）留美

【受講者】
8月5日（水）中学生1名、高校生2名
8月6日（木）高校生3名

【実施内容】

1. 約90分間のスライドを用いた、脳の構造と機能に関する講義と討論を行った。
2. 培養神経細胞を用いて自ら、免疫染色を行った。
3. 生きた培養神経細胞に神経伝達物質を投与し、細胞内カルシウムの変化を観察した。

【成果と課題】

昨今のテレビなどによる脳科学関連の番組の影響で、一般向けの知識を聞いたことがある学生もいたが、基礎的な生物学的な正しい知識をもった学生は少なく、このような機会が基礎的な科学とテレビ的知識をつなぐ良い機会になったのではないかと思う。

実際の実験では、日頃経験したことのない実験操作を体験し、高度な顕微鏡を用いた観察をすることによって、普段の学校では得られない経験が得られたと思う。

また初日には、テレビ取材もあり私たちも参加者も世間の注目度を感じ、今回のサイエンスキャンプの意義と有用性を客観的に考えることにもなった。私個人としては、今回のテレビ取材だけでなく、その他一般への広い広報活動があれば、さらにサイエンスキャンプの知名度の向上、参加者の増加などにつながると思う。

このような中高校生を対象にした教育活動は、今回の2日間のサイエンスキャンプだけでなく、休み期間中のもっと長期の研究室体験や出前講義などを展開することにより、有意義な社会貢献活動になると思われる。

